

三原市久井歴史民俗資料館

vol.7

モーモー通信



モーモー館長

モ〜いくつ…♪年末年始の行事



「子ども体験講座」を行いました！

11月7日(土)、子ども体験講座「竹のおもちゃを作ってみよう！」を開催しました。講師に地元の廣近哲二先生をお招きして、「竹ぽっくり」という昔ながらのおもちゃを、竹を切って作りました。ノコギリをはじめて使う子もあり、竹をまっすぐ切るのはとても難しく真剣な表情！切れたときは、「やったあ〜」ととても嬉しそうでした。穴を開けて、ひもを通してイラストを描いて…作る作業は大変でしたが、出来たオリジナルの竹ぽっくりに満足そうでした。

資料館には箕^みや笠^{かさ}、飯かごなどたくさんの竹細工を展示してあります。竹を使用した生活用品はかつて日常生活や子どもの遊びにも欠かせないものでした。資料館も見学し、昔の人の知恵や遊ぶ工夫を学びました。



手切らないでモ〜



年末年始の行事

お正月はもともと、1年間家を守ってくれる神様をおむかえする行事です。年末年始、その準備は昔から大切にされてきました。

【大そうじ】 1年間の汚れを落として^{やく}厄ばらいします。昔は「いろり」や「かまど」からでる黒い「すす」で家が汚れるので、竹の棒にわらをつけたほうきでそうじを行い、すす払いしました。

いろり



かまど

第4展示室

もち
【餅つき】



うす きね
臼と杵

12月の終わり頃、神様へのお供えものとして、お正月用のお餅をつきました。ただし、29日は9の発音が「苦」と同じため、また31日は「一夜飾り」のためさけました。餅つきの起源は平安時代であり、杵を振って臼の中で餅をつきあげます。



かざ
【しめ飾り】



昭和 52(1977)年使用

はつもうで
【初詣】

もともとは氏神さま(その地域をつかさどる神)をむかえるために、一家の主が^{あるし}大晦日の夜から翌朝まで神社にこもる「年ごもり」という行事でした。江戸時代中期頃に、^{えほう}恵方(歳神さまがいるとされる方角)の神社にお参りするようになり、現在のように近所や有名な神社や寺院にお参りするようになったのは、明治時代中期頃とされています。



★「モーモー通信」はHPでもご覧いただけます★

調べよう！みはらコレナンダ？(子ども向け)

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/104083.html>

＊くいの名所に足を運んでみてね♪



つづきは資料館で...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

